

2024



F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP CERTIFIED BY FIA

Race Report Round 1-2
FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY
3-4. May 2024



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
BRAKES

SEALOCK
SEALOCK RACING OIL



Contents

1. 富士スピードウェイ コースガイド
2. FIA-F4 第1戦 - 第2戦 エントリーリスト
3. FIA-F4 第1戦 - 第2戦 予選レポート
4. FIA-F4 第1戦 予選結果
5. FIA-F4 第1戦 グリッド
6. FIA-F4 第2戦 予選結果
7. FIA-F4 第2戦 グリッド
8. FIA-F4 第1戦 決勝レポート
9. FIA-F4 第1戦 決勝結果
10. FIA-F4 第2戦 決勝レポート
11. FIA-F4 第2戦 決勝結果
12. FIA-F4 ポイントスタンディング（ドライバー）
13. FIA-F4 ポイントスタンディング（チーム）

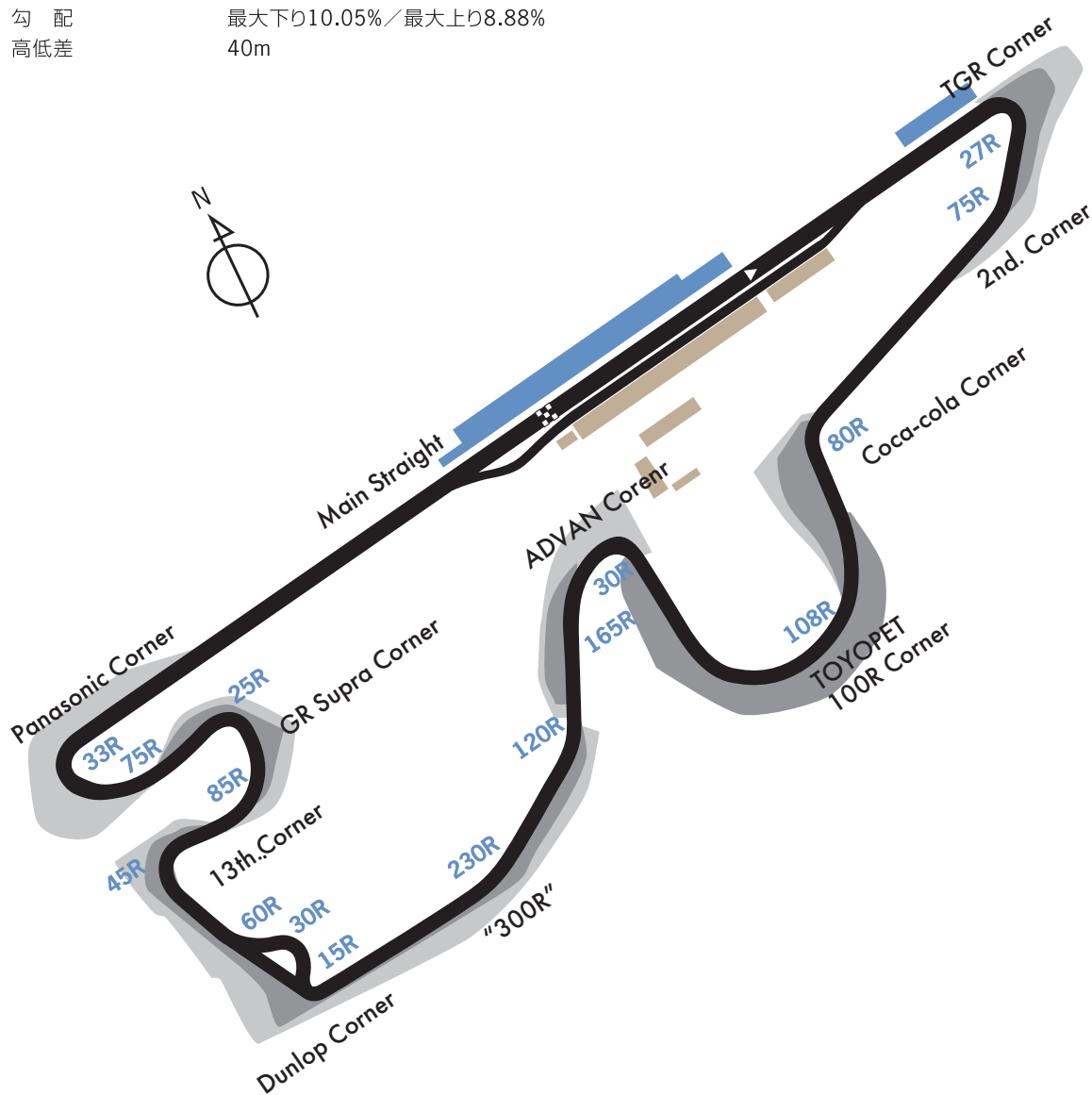




Fuji International Speedway Course Guide

富士スピードウェイ・コース概要

全 長	4,563m
(ショートカットコース)	4,526m)
幅 員	15~25m
最大直線長	1,475mm
コーナー数	16(左コーナー:6、右コーナー:10)
勾 配	最大下り10.05%／最大上り8.88%
高低差	40m





Entry List

No.	Car No.	Name	Car
チャンピオンクラス			
1	10	小松 響/H.KOMATSU	Rn-sports MCS4
2	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
3	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4
4	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT
5	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24
6	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24
7	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4
8	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4
9	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4
10	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4
11	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4
12	46	有村 将真/S.ARIMURA	フジタ薬局アポロ電工
13	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP Racing Team
14	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP Racing Team
15	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4
16	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE
17	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4
18	64	HIROBON	HELM MOTORSPORTS F4
19	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED
20	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team
21	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing
22	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing
インディペンデントクラス			
1	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND
2	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHIO
3	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4
4	9	KEN ALEX	BUZZ RACING
5	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4
6	23	YUGO	S2R Racing
7	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON
8	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES
9	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX
10	55	KENTARO	Baum Field F4
11	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4
12	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND
13	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team
14	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND
15	98	IKARI	Bionic Jack Racing





Report: Qualifying Round 1-2



**CH クラスでは新原光太郎と森山冬星が初 PP !
INDP では DRAGON、仲尾恵史がポール獲得**

■チャンピオンクラス予選

Halo を備えた Gen.2 車両の導入、チャンピオンクラス (CH クラス)、インディペンデントクラス (INDP クラス) の 2 クラス制への移行など、シリーズ 10 周年目の節目に新たなスタートを切った FIA-F4 選手権。そのシリーズ開幕大会は、今年もこのゴールデンウィークの富士スピードウェイが舞台となった。

非常に寒い水曜の走行に始まり、天候回復した木曜を経て、5 月 3 日金曜に迎えた公式予選は、快晴の空の下で午前 7 時 45 分、チャンピオンクラスのアタックから幕を開けた。

22 台がエントリーしたチャンピオンクラス。セッション開始と同時にほぼ全車がコースイン



となったが、洞地遼大はホイールが緩んだためにすぐピットへ戻ることに。その他の車両は連続周回に入り、計測が始まる 2 周目には 1 分 47 秒台のタイムがモニター上位に並ぶが、翌周には野村勇斗が 1 分 46 秒 772 で首位に立ち、さらにこのタイムを大宮賢人、森山冬星が上回っていく。4 周目にはさらにレベルが上がり、45 秒台の争いとなっていくが、ここで上位争いに新原光太郎が加わって来る。5 周目には野村が 1 分 45 秒 432 を刻んで首位に振り返ると、森山、そして佐野雄城、白崎稜、佐藤樹らも上位争いに絡み始めるなど、激しい攻防の様相に。



OTRGT
RACING TECHNOLOGY

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
BRAKES

SELDO
RACING



Report: Qualifying Round 1-2



6周目となると、1分45秒319をマークした佐野がトップに浮上。これを野村、白崎、森山、そして清水啓伸、大宮が追う展開となるが、翌7周目に1分45秒254で首位に立ったのは新原だったが、すぐさま森山が1分45秒123でこれを上回りモニターのトップに立つ。

翌周にはトップ2に変動はなかったものの、続く9周目に新原が1分44秒948と、唯一の44秒台を叩き出すことに成功。残り5分を切ったところで新原がトップに浮上を果たす。

残り時間もほとんどの車両がアタックを続けたものの、上位には大きな変動はないまま午前8時05分にチェッカーを迎え、新原が初のポー

ルポジションを獲得し、森山が2番手。野村、佐野、清水が続き、6番手には序盤のトラブルから遅れてのアタック開始となった洞地が入った。

なお、セカンドベストで決まる第2戦では森山がポールシッターとなり、新原は2番手。これに佐野、野村、大宮、清水が続くこととなっている。

■インディペンデントクラス予選

チャンピオンクラス予選に続いて、午前8時20分にコースイン開始となったインディペンデントクラス予選。エントリーは15台であったが、3台が出走を取りやめたことで、今大会は12台での攻防となった。

これが初となるインディペンデントクラス独自の予選セッションは、コースイン開始とともに各車ピットアウト。チャンピオンクラス同様に徐々にタイムを上げていくこととなったが、序盤からモニター上位につけたのはIKARI、仲尾恵史、そして大山正芳ら。他車との間合いを開け、タイミングをずらしてアタックする形となったDRAGONがこれに続く。

3周目にはIKARIが1分48秒693でトップに立つと、49秒台のタイムで仲尾、大山が続き、その直後に齋藤真紀雄が1分49秒730で大山をかわして3番手に浮上するが、翌周齋藤はエンジントラブルに見舞われ、コースサイドにマシンを止めてしまうこと。やや遅れて、DRAGONが1分48秒746でIKARIに迫る2番手に再度つける。

IKARIはさらに1分48秒344とタイムを上げるが、今度は仲尾が1分48秒081で逆転しトップに浮上。しかし、DRAGONが1分47秒981を叩き出し、再び首位の座を奪い返す。

5周目には再びIKARIが1分47秒974で首位に返り咲きも、再びDRAGONが1分47秒809でトップを奪還。ここから47秒台の攻防がIKARI、仲尾、DRAGONの3台によって続けられるが、終盤にはこれにKENTARO、KEN ALEXも加わる気配を見せたものの、9周目にDRAGONがついに1分46秒963をマークして46秒台に突入。11周目のラストラップに仲尾も1分46秒978を絞り出したが、DRAGONには届かず、そのまま



DRAGONがポールポジションを獲得し仲尾、IKARI、KENTARO、KEN ALEX、そして小谷素弘がトップ6に。一方、セカンドベストタイムで決まる第2戦は仲尾がポールポジションとなり、DRAGONが2番手。IKARI、KENTARO、KEN ALEX、そして赤松昌一朗が6番手までに並んだ。

OTGI
RACING TECHNOLOGY

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

FFC
RACING

SEIKO
RACING



Report: Qualifying Round 1-2

予選上位コメント：チャンピオンクラス

■予選1位（第1戦 予選1位／第2戦 予選2位）新原 光太郎【#16 YBS Verve 影山 MCS4】

「2年ぶりのフル参戦ですが、今年はクルマが新しくなったことでプライベーターチームでも結構やれるのではという感触を持って開幕戦に挑みました。セッション前半は（コースでの）場所どりがうまくいかず、タイヤが消耗してきた後半になって良い場所でアタックできたという予選でした。でも、その中で好タイムが出せて良かったです。スリップをうまく使えたことがポール獲得に繋がりました。決勝でも路面の変化やスタート後の場所どりなど難しい部分があると思いますが、この順位を最後までキープできるよう頑張ります」



■予選2位（第1戦 予選2位／第2戦 予選1位）森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】

「今日の予選結果は、自分にとってもチームにとっても良かったです。シーズン最初の予選ですし、とりあえずホッとしています。（練習走行の）昨日までは7番手留まりでしたが徐々に調子は上がっていて、自信を持って挑んだことが好結果に繋がったと思います。チームを移籍した今シーズン、ここまでの流れもチームの雰囲気も良いので、あとは結果を出すだけ。決勝は開幕戦ということで、まずは着実に表彰台を獲得できるよう頑張ります」



■予選3位（第1戦 予選3位／第2戦 予選4位）野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】

「昨日の練習走行までは調子が良く自信を持って挑みましたが、クルマのフィーリングが昨日とはまったく変わっていて、トップを獲れず悔しいです。ニューマシンに特に大きな違和感はありませんが、変化にうまく合わせられず、あれ以上タイムを伸ばすことが出来ませんでした。決勝に向けては、まだ開幕戦ですしロングランもあまりできていないので、まずは落ち着いて臨むことがテーマ。その上で優勝を目指します」



■予選4位（第1戦 予選4位／第2戦 予選3位）佐野 雄城【#35 TGR-DC RS F4】

「セッティングも自分の走りもうまく合わせられず（練習走行の）昨日まで苦戦していましたが、今日に向けていろいろとやってきたことが良い方向に進んでいます。昨日のタイムを考えると、今日のタイムは良かったと思います。決勝に向けても今のところ良い方向にきているので、この調子でさらに順位を上げていきたいです。開幕戦はまず上位フィニッシュして安定した速さを見せて、最終的にチャンピオンを獲得できるよう頑張ります」





Report: Qualifying Round1-2

予選上位コメント：インディペンデントクラス

■予選1位（第1戦 予選1位／第2戦 予選2位）DRAGON【#30 B-MAX TEAM DRAGON】

「多少ミスはありながらもダブルポール（第1戦&第2戦予選1位）を獲れていると思っていましたが、最後に抜かれてしまい残念でした。新しいクルマは少し重くなったというものはあるものの、大きな違いは感じていません。フル参戦 2年目の今シーズンは去年強かったライバルが何人か参戦していませんし、最後までタイトル争いをしてチャンピオンを獲得することが目標。まずはこの開幕大会の2戦、きっちり2勝を挙げて良いシーズンスタートを切りたいです」



■予選2位（第1戦 予選2位／第2戦 予選1位）仲尾 恵史【#2 TCS AKILAND】

「ニューマシンの対応に苦しんでいて（練習走行の）昨日まで調子が悪かったので、今日はセットをガラリと変えてみました。初めてのセットで走った割にはうまく走ることができたと思います。去年惜しくも逃した（クラスの）チャンピオンを今年こそ獲得するために良いスタートを切りたいと思っていたので、非常に嬉しいです。65歳でチャンピオンというのはカッコいいですよね（笑）。良いポジションからスタートできるし、決勝は2戦とも優勝を狙っていきます」



■予選3位（第1戦 予選3位／第2戦 予選3位）IKARI【#98 Bionic Jack Racing】

「F4 では以前にポールも優勝も経験していますが、久しぶりということのを思えば良い結果だと思います。セット出しに苦労していて、予選ではあえて難しいセットにトライしたところ、ヘタクソなりになんとかコントロールできたという感じです。ニューマシンはクラッチミートが少し難しくなったという感じがしていて、レースでは確実にスタートを切ろうと思います。あとは前をひたすら追いかけて順位を上げていきたいです」





Result: Qualifying Round 1

発表 10:30

天候：晴れ

路面：ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Time	Gap	Lap
チャンピオンクラス						
1	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	1'44.948		12
2	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	1'45.123	0.175	12
3	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP Racing Team	1'45.255	0.307	11
4	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	1'45.299	0.351	12
5	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	1'45.348	0.400	11
6	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP Racing Team	1'45.365	0.417	9
7	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	1'45.408	0.460	12
8	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	1'45.444	0.496	12
9	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	1'45.501	0.553	11
10	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	1'45.531	0.583	12
*1	11	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	1'45.813	0.865	12
12	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	1'45.845	0.897	11
13	10	小松 響/H.KOMATSU	Rn-sports MCS4	1'45.922	0.974	11
14	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	1'46.119	1.171	10
15	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	1'46.356	1.408	11
16	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	1'46.495	1.547	12
17	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	1'46.628	1.680	11
18	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	1'46.677	1.729	11
19	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	1'46.845	1.897	11
20	64	HIROBON	HELM MOTORSPORTS F4	1'46.998	2.050	11
21	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	1'47.265	2.317	9
*2	22	有村 将真/S.ARIMURA	フジタ薬局アボロ電工	1'47.432	2.484	11
-----以上予選通過-----						
インディペンデントクラス						
1	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	1'46.963		10
2	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	1'46.978	0.015	11
3	98	IKARI	Bionic Jack Racing	1'47.164	0.201	11
4	55	KENTARO	Baum Field F4	1'47.289	0.326	11
*3	5	KEN ALEX	BUZZ RACING	1'47.545	0.582	11
6	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	1'48.218	1.255	11
7	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND	1'48.219	1.256	11
8	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	1'48.284	1.321	11
9	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	1'48.369	1.406	11
10	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	1'48.931	1.968	11
11	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	1'49.730	2.767	3
12	23	YUGO	S2R Racing	1'50.192	3.229	11
-----以上予選通過-----						
4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHIO	未出走			
11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	未出走			
44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	未出走			

予選通過基準タイム (105%) : チャンピオンクラス 1'50.364 / インディペンデントクラス 1'52.386

チャンピオンクラス 参加台数 : 22台 / 出走台数 : 22台

インディペンデントクラス 参加台数 : 15台 / 出走台数 : 12台

* CarNo.87 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム (1,45.916 1,46.102) は採択されない。

* CarNo.46 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム (1,46.996) は採択されない。

* CarNo.37 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム (1,45.099) は採択されない。

* CarNo.9 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム (1,47.357 1,47.316) は採択されない。

*1 CarNo.87は、L項第4章第2条c) d) (走路外走行複数回) 違反により、予選結果より第1レース4グリッド降格のペナルティを課す。

*2 CarNo.46は、シリーズ規則第26条9(ピットレーン速度規制)違反により、訓戒のペナルティを課す。

CarNo.46は、シリーズ規則第27条8.(黄旗区間の走行)により、当該周回タイム(1'47.406) は採択されない。

*3 CarNo.9は、L項第4章第2条c) d) (走路外走行複数回) 違反により、予選結果より第1レース3グリッド降格のペナルティを課す。





Grid: Round 1

16	新原 光太郎 /K.SHIMBARA YBS Verve 影山 MCS4	62	森山 冬星 /T.MORIYAMA HELM MOTORSPORTS F4
50	野村 勇斗 /Y.NOMURA HFDP Racing Team	35	佐野 雄城 /Y.SANO TGR-DC RS F4
34	清水 啓伸 /H.SHIMIZU Drago CORSE MCS4-24	51	洞地 遼大 /R.HORACHI HFDP Racing Team
45	大宮 賢人 /K.OMIYA PONOS RACING MCS4	97	白崎 稜 /R.SHIRASAKI Bionic Jack Racing
33	佐藤 樹 /I.SATO Drago CORSE MCS4-24	36	卜部 和久 /K.URABE TGR-DC RS F4
54	佐藤 凛太郎 /R.SATO PONOS RACING MCS4	10	小松 響 /H.KOMATSU Rn-sports MCS4
37	鈴木 斗輝哉 /T.SUZUKI TGR-DC RS F4	60	熊谷 憲太 /K.KUMAGAI OTG DL F4CHALLENGE
87	下野 璃央 /R.SHIMONO Dr.Dry Racing Team	14	村田 将輝 /M.MURATA 湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
26	三枝 拓己 /T.SAIGUSA FALCON MOTORSPORT	77	松田 大輝 /D.MATSUDA WARMTECH SKILLSPEED
90	Lin Chenghua/C.Lin ATEAM Buzz Racing	64	HIROBON HELM MOTORSPORTS F4
38	梅垣 清 /K.UMEGAKI TGR-DC RS F4	46	有村 将真 /S.ARIMURA フジタ薬局アポロ電工
30	DRAGON B-MAX TEAM DRAGON	2	仲尾 恵史 /K.NAKAO TCS AKILAND
98	IKARI Bionic Jack Racing	55	KENTARO Baum Field F4
5	小谷 素弘 /M.KOTANI TEAM 5ZIGEN F4	71	大山 正芳 /M.OYAMA ダイワ N 通商 AKILAND
86	大阪 八郎 /H.OSAKA Dr.Dry Racing Team	9	KEN ALEX BUZZ RACING
40	赤松 昌一朗 /S.AKAMATSU SHOEI-GIGS Ride with ES	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI HELM MOTORSPORTS F4
96	齋藤 真紀雄 /M.SAITO CS マーケティング AKILAND F110	23	YUGO S2R Racing





Result: Qualifying Round 2

発表 10:30

天候 : 晴れ

路面 : ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Time	Gap	Lap
チャンピオンクラス						
1	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	1'45.221		12
2	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	1'45.254	0.033	12
3	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	1'45.319	0.098	12
4	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP Racing Team	1'45.371	0.150	11
5	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	1'45.410	0.189	12
6	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	1'45.429	0.208	11
7	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	1'45.450	0.229	12
8	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP Racing Team	1'45.455	0.234	9
9	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	1'45.576	0.355	11
10	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	1'45.613	0.392	12
11	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	1'45.861	0.640	11
12	10	小松 響/H.KOMATSU	Rn-sports MCS4	1'45.953	0.732	11
*1	13	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	1'46.123	0.902	12
14	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	1'46.218	0.997	10
15	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	1'46.456	1.235	11
16	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	1'46.534	1.313	12
17	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	1'46.787	1.566	11
18	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	1'46.904	1.683	11
19	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	1'46.908	1.687	11
20	64	HIROBON	HELM MOTORSPORTS F4	1'47.057	1.836	11
21	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	1'47.336	2.115	9
*2	22	有村 将真/S.ARIMURA	フジタ薬局アポロ電工	1'47.451	2.230	11
-----以上予選通過-----						
インディペンデントクラス						
1	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	1'47.041		11
2	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	1'47.087	0.046	10
3	98	IKARI	Bionic Jack Racing	1'47.254	0.213	11
4	55	KENTARO	Baum Field F4	1'47.299	0.258	11
*3	5	KEN ALEX	BUZZ RACING	1'47.756	0.715	11
6	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	1'48.373	1.332	11
7	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND	1'48.386	1.345	11
8	5	小谷 泰弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	1'48.400	1.359	11
9	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	1'48.602	1.561	11
10	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	1'49.311	2.270	11
11	23	YUGO	S2R Racing	1'50.242	3.201	11
12	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	1'51.440	4.399	3
-----以上予選通過-----						
	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHIO	未出走		
	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	未出走		
	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	未出走		

予選通過基準タイム (105%) : チャンピオンクラス 1'50.527 / インディペンデントクラス 1'52.483

チャンピオンクラス 参加台数 : 22台 / 出走台数 : 22台

インディペンデントクラス 参加台数 : 15台 / 出走台数 : 12台

* CarNo.87 - 一般競技規則第5章第17条3.(ランオフエリア走行)により、当該周回タイム(1,45.916 1,46.102)は採択されない。

* CarNo.46 - 一般競技規則第5章第17条3.(ランオフエリア走行)により、当該周回タイム(1,46.996)は採択されない。

* CarNo.37 - 一般競技規則第5章第17条3.(ランオフエリア走行)により、当該周回タイム(1,45.099)は採択されない。

* CarNo.9 - 一般競技規則第5章第17条3.(ランオフエリア走行)により、当該周回タイム(1,47.357 1,47.316)は採択されない。

*1 CarNo.87は、L項第4章第2条c) d) (走路外走行複数回) 違反により、予選結果より第1レース4グリッド降格のペナルティを課す。

*2 CarNo.46は、シリーズ規則第26条9(ピットレーン速度・規制)違反により、訓戒のペナルティを課す。

CarNo.46は、シリーズ規則第27条8.(黄旗区間の走行)により、当該周回タイム(1'47.406)は採択されない。

*3 CarNo.9は、L項第4章第2条c) d) (走路外走行複数回) 違反により、予選結果より第1レース3グリッド降格のペナルティを課す。





Grid: Round 2

62	森山 冬星 /T.MORIYAMA HELM MOTORSPORTS F4
34	清水 啓伸 /H.SHIMIZU Drago CORSE MCS4-24
33	佐藤 樹 /I.SATO Drago CORSE MCS4-24
87	下野 璃央 /R.SHIMONO Dr.Dry Racing Team
14	村田 将輝 /M.MURATA 湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
90	Lin Chenghua/C.Lin ATEAM Buzz Racing
64	HIROBON HELM MOTORSPORTS F4
98	IKARI Bionic Jack Racing
9	KEN ALEX BUZZ RACING
71	大山 正芳 /M.OYAMA ダイワ N 通商 AKILAND
86	大阪 八郎 /H.OSAKA Dr.Dry Racing Team
23	YUGO S2R Racing

16	新原 光太郎 /K.SHIMBARA YBS Verve 影山 MCS4
97	白崎 稜 /R.SHIRASAKI Bionic Jack Racing
10	小松 響 /H.KOMATSU Rn-sports MCS4
60	熊谷 憲太 /K.KUMAGAI OTG DL F4CHALLENGE
77	松田 大輝 /D.MATSUDA WARMTECH SKILLSPEED
26	三枝 拓己 /T.SAIGUSA FALCON MOTORSPORT
2	仲尾 恵史 /K.NAKAO TCS AKILAND
55	KENTARO Baum Field F4
40	赤松 昌一朗 /S.AKAMATSU SHOEI-GIGS Ride with ES
5	小谷 素弘 /M.KOTANI TEAM 5ZIGEN F4
61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI HELM MOTORSPORTS F4
96	齋藤 真紀雄 /M.SAITO CS マーケティング AKILAND F110



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the FutureFERODO
RACINGPETRONAS
Syntium

PFC

SEIWA

Report: Final Race Round 1



波乱続いた第1戦、佐野雄城が逆転で初優勝！ INDP クラスは DRAGON がポール・トゥ・ウイン

徐々に日差しが強まり、気温がぐんぐん上昇する中、正午にコースイン開始となった FIA-F4 選手権第1戦決勝。初ポールの新原光太郎、フロントロウの森山冬星を筆頭にチャンピオンクラスの22台が前方に並び、その後ろに DRAGON、仲尾恵史を先頭としたインディペンデントクラスが並ぶという、今季からクラス分けされた決勝グリッドには、合計34台がつく予定だったが、グリッドに向かっていった KEN ALEX がクラッチトラブルでピットスタートとなり、結局33台のマシンが午後0時15分のフォーメーションラップを迎えた。しかしながら、フォーメーションスタートの時点で下野璃央が動けず、32台の車両がグリッドから、そして1台がピットスタートでの決勝スタートとなった。



午後0時19分、レッドシグナルが消灯し各車スタートを切ったが、3台ほどのマシンがストールで出遅れたが、グリッド上では大きな混乱なく集団が1コーナーへ。トップの新原はトップを守って1コーナーにアプローチしたが、その背後では森山、野村勇斗、佐野雄城、大宮賢人、洞地遼大が接近戦を演じながら雪崩れ込む。わずかに新原が抜けた形で2コーナー、コカコーラコーナーをクリアした上位陣には、さらに白崎稜、佐藤樹、上部和久、清水啓伸が加わり、序盤から接近戦が展開されるが、オープニングラップを制したのは新原。


 OTGI
ORGANIZED BY JAF


 DUNLOP


 TOM'S


 TORAY
Toray Carbon Magic


 BRIDE


 ENDLESS
Challenge to the Future


 FERODO
RACING


 PETRONAS
Syntium


 FFC
RACING


 SEIPRO
RACING



Report:Final Race Round 1



以下、森山、野村、佐野、大宮、洞地、白崎、佐藤樹、卜部、清水までがトップ 10 という状況に。

しかし、2 周目の 1 コーナーではスリップを活かした 4 番手佐野が 3 番手野村に並びかけ、1 コーナーで 3 番手を奪う。

続く 3 周目には同じく 1 コーナーで洞地と大宮が 5 番手争いを展開、もつれあうように並走した 2 台は、コカコーラコーナーで洞地に軍配が上がるが、大宮の背後には白崎が迫る。6 番手を争うこととなった大宮と白崎だが、翌周のストレートで白崎がスリップを抜け出して大宮をパスし 6 番手を奪う。

ところが、この周トップに異変が。徐々にトップ新

原との間合いを詰めていた森山がテール・トゥ・ノーズ状態に持ち込み、新原にプレッシャーをかけ始める。新原はなんとか森山を抑えていたが、翌 5 周目の 1 コーナーでは森山が新原に並びかけるほどに接近。それでもトップを守った新原は、森山を従えてコカコーラコーナーへ向かったが、新原のマシンに張り付いていた森山がインを伺おうと進路変更を行った際、森山のマシンのノーズ先端が新原のマシンのリヤストラクチャーに接触してしまい、たまたま新原はスピン状態となり、アウト側のガードレールにクラッシュしてしまう。この周にはダンロップコーナー立ち上がりで佐藤樹と佐藤凜太郎が接触、佐藤樹がスピンアウトしダメージを追うこととなり、結局ピットに戻ってレースを終えるなど、アクシデントが連続する。

このアクシデントの結果、期せずして首位に立った森山は、2 番手の佐野以下、野村、洞地、白崎の接近は許さず、ポジションを守ってレース折り返しの 7 周目を終えるが、8 周目のヘアピンで前車を抜きに行ったらスピン状態となった Lin Chenghua に SAKAI WILLIAM が接触する形となり、2 台がヘアピンのコース上に絡み合ったままストップしてしまう。

このためセーフティカーが導入されるが、この時点でのトップ 10 のオーダーは森山、佐野、野村、洞地、白崎、大宮、清水、卜部、鈴木斗輝哉、佐藤凜太郎。



Toray Carbon Magic



Challenge to the Future



RACING





Report:Final Race Round 1



このセーフティーカーは11周終了時まで続き、レースは12周目からリスタートとなるが、このリスタート直後の1コーナーで森山、佐野のトップ2の背後で野村、洞地、白崎、大宮らが接近戦を演じる中、大宮がスピンを喫して後退してしまう。また、リスタートでトップを守った森山だったが、この周に新原とのアクシデントによりドライブスルーペナルティーが科せられピットへ。このため、残り3周を切ったところで佐野がトップに浮上する。

トップに立った佐野は、接戦を続ける野村、洞地に対しわずかにギャップを確保すると、そのまま念願のトップチェッカー。右手を突き上げつつのフィニッシュを飾った。コンマ7秒差の2位には

野村、そして洞地までが表彰台となり、4位は自己最高位となる清水。ト部、白崎が5~6位となった。なお、ペナルティーを消化後レースに戻った森山はクラス15位で初戦を終えた。

一方インディペンデントクラスでは、ポールポジションからスタートした DRAGON が力強いレースを展開。スタートでトップを守ると、2番手で追走する仲尾、そして3番手 IKARI をじりじりと引き離し、セーフティーカーが導入されるまでに5秒近いマージンを稼ぎ出す。

DRAGON にとっては、最悪なタイミングでのセーフティーカーの登場だったはずだが、リスタートしてからも再び仲尾、IKARI 以下を引き離して1秒8のギャップを築くと、そのまま14周を走り切ってトップチェッカー。新生インディペンデントクラスの記念すべき初戦のクラスウィナーとなった。

2位には仲尾、3位には IKARI が続き表彰台。さらに KENTARO、大山正芳、赤松昌一朗までがトップ6に入った。



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
BRAKES

SELPO
RACING



Report: Final Race Round 1

第1戦 決勝上位コメント：チャンピオンクラス

■ 決勝1位 佐野 雄城【#35 TGR-DC RS F4】

「予選で厳しかった部分がある程度改善されていて、それが決勝でのペースの良さに繋がったと思います。序盤のペースが上がり切らなかったという明日（第2戦決勝）へ向けての改善点はまだあるものの、スタートも良かったし、前2台（#16 新原選手と #62 森山選手）が接触したことでトップに浮上することができました。前2台がいなくなっても、後半十分勝負できるペースはあったと思います。レース内容は全体的に良かったです。明日も良いポジションからスタートできるので、優勝を目指します」



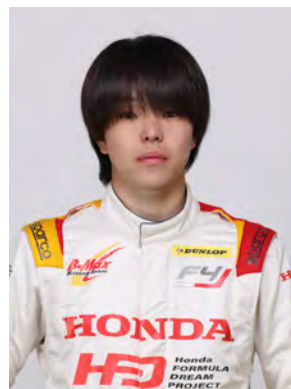
■ 決勝2位 野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】

「スタートはまずまずでしたが、その後のペースは今ひとつ。佐野選手に抜かれた後、抜き返す力がなく、セーフティカーで近づいた後も引き離されてしまいました。厳しいレースでした。セットアップを含め、明日（第2戦決勝）に向けなんとか改善したいと思います」



■ 決勝3位 洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】

「スタートは良くてそこでひとつポジションを上げることができたのですが、その後マシントラブルでガス欠のような症状が出て、しばらく前に追いつけない展開になりました。セーフティカー明けに直ってペースを取り戻すことができましたが、今回は1位、2位が獲れる感触がありながら予選もトラブルで思うような結果にならず、決勝でも順位を上げることができなかったのが、初表彰台ですが悔しさの方が大きいです。明日（第2戦決勝）も8番手から、最後まで諦めずに頑張ります」





Report: Final Race Round 1

第1戦 決勝上位コメント：インディペンデントクラス

■ 決勝1位 DRAGON【#30 B-MAX TEAM DRAGON】

「ポールスタートということで序盤から逃げを打とうと考えていて、1周目は（2番手の）仲尾選手につかれないよう懸命にプッシュしました。優勝は素直に嬉しいです。これまでスポット参戦の年は必ず1勝していながら、フル参戦の昨年勝つことができなかった上にクラッシュもあったので、今年はそういうことがないようにしたいと思っていました。その最初のレースで久しぶりに勝てたので。明日（第2戦決勝）は追う立場ですが、スタートで前に出ることができればラッキー。前に出られなくても落ち着いて勝負どころを見極めて、うまく攻略したいです」



■ 決勝2位 仲尾 恵史【#2 TCS AKILAND】

「オープニングラップはごちゃごちゃしていてヘアピンで IKARI 選手に抜かれてしまいましたが、その後抜き返すことができました。でも DRAGON 選手は速すぎて、結局近づけないまま終わっちゃいました。でも満足。この歳だし、表彰台に上げられるだけで幸せです。明日（第2戦決勝）は DRAGON 選手の前からスタートですが、相手が速すぎるので、マシンの後ろから煙を出して目つぶしでもするつもりで頑張ります（笑）」



■ 決勝3位 IKARI【#98 Bionic Jack Racing】

「仲尾選手が前につまった隙に一旦は抜くことができたものの、やはり仲尾選手は速かったですね。ペースは自分としてはベストな感じでしたが、前の2人にはかないませんでした。セッティングがやや守り傾向なので、明日はもう少し攻めのセッティングにするかどうか、これからチームと相談します。明日（第2戦決勝）は DRAGON 選手と仲尾選手になんとかついていけるよう頑張ります」





Result: Final Race Round 1

発表 14:15

天候: 晴れ

路面: ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Lap	Time	Gap	Best Lap
チャンピオンクラス							
1	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	14	29'07.564		1'45.996
2	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP Racing Team	14	29'08.362	0.798	1'45.882
3	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP Racing Team	14	29'08.790	1.226	1'45.513
4	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	14	29'10.691	3.127	1'45.803
5	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	14	29'11.661	4.097	1'46.240
6	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	14	29'12.255	4.691	1'45.996
7	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	14	29'14.069	6.505	1'46.520
8	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	14	29'17.256	9.692	1'47.163
9	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	14	29'17.849	10.285	1'47.700
*1	10	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	14	29'19.445	11.881	1'46.934
	11	有村 将真/S.ARIMURA	フジタ薬局アポロ電工	14	29'24.982	17.418	1'47.667
	12	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	14	29'28.205	20.641	1'45.926
	13	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	14	29'38.655	31.091	1'46.987
*2	14	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	14	29'43.625	36.061	1'46.378
*3	15	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	14	29'43.852	36.288	1'45.735
			-----以上完走-----				
	64	HIROBON	HELM MOTORSPORTS F4	10	21'18.019	4Laps	1'50.680
	90	Lin Chenchua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	6	11'16.876	8Laps	1'49.315
	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	6	11'53.847	8Laps	1'46.214
	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	4	7'06.638	10Laps	1'45.965
	10	小松 響/H.KOMATSU	Rn-sports MCS4	2	4'01.024	12Laps	2'05.980
	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	2	4'04.594	12Laps	2'00.356
	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team		DNF		
インディペンデントクラス							
21	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	14	29'22.193		1'47.470
22	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	14	29'24.060	1.867	1'48.300
23	98	IKARI	Bionic Jack Racing	14	29'25.454	3.261	1'48.479
24	55	KENTARO	Baum Field F4	14	29'26.645	4.452	1'47.870
25	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND	14	29'26.663	4.470	1'48.368
26	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	14	29'27.823	5.630	1'48.867
27	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	14	29'29.512	7.319	1'48.860
28	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM SZIGEN F4	14	29'30.619	8.426	1'49.179
29	9	KEN ALEX	BUZZ RACING	14	29'35.266	13.073	1'49.063
30	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	14	29'35.302	13.109	1'49.852
31	23	YUGO	S2R Racing	14	29'40.191	17.998	1'51.229
			-----以上完走-----				
	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	6	11'16.776	8Laps	1'49.805

チャンピオンクラス 参加台数: 22台/出走台数: 21台/完走台数: 15台

インディペンデントクラス 参加台数: 15台/出走台数: 12台/完走台数: 11台

チャンピオンクラス ベストラップ: 51 洞地 遼大/R.HORACHI 1'45.513 (7/ 14) 155.685 km/h

インディペンデントクラス ベストラップ: 88 荒川 麟/R.ARAKAWA 1'47.470 (4/ 14) 152.850 km/h

SC導入時刻 12:32(7Lap)~12:43(11Laps)

*1 CarNo.60は、H項違反(黄旗1本中のコースアウト)により、競技結果に対し5秒加算のペナルティを課す。

*2 CarNo.54は、シリーズ規則第15条1.1) 2)(ドライブ)のコースアウトを強いるもの)違反により、競技結果に対し30秒加算のペナルティを課す。

*3 CarNo.62は、シリーズ規則第15条1.1) 2)(ドライブ)のコースアウトを強いるもの)違反により、ドライブスルーペナルティを課す。





Report: Final Race Round 2



森山冬星が初優勝！ 清水、佐藤樹が表彰台獲得 波乱の INDP クラスは KENTARO が初優勝飾る

昨日の第1戦決勝に続き、5月4日（土）の午前8時フォーメーションラップ開始となった第2戦決勝も快晴の下、ドライコンディションでの14周の戦いとなった。

レースウィークに入り、一部車両にエンジントラブルが発生していることを受けて、GTAではこの第2戦に向けて全車にエンジンマップの変更等の対応策を行うこととなったが、最終的に10台のマシンがリタイアを選択したことで、この第2戦には24台がグリッドについた。

この第2戦のポールシッターは森山冬星。予選2番手には新原光太郎が並び、昨日の第1戦と順位を入れ替えてのフロントロウに。2列目には清水啓伸、白崎稜、3列目には佐藤樹、小松響、4列目には下野璃央、熊谷憲太が続いた。



フォーメーションラップを終え、レッドシグナルが消灯し全車いっせいにスタートを切ったが、PPの森山はまずまずの動き出しも2番グリッドの新原は動き出しが鈍く大きく後退。代わって1コーナーでは清水が2番手、3番手には佐藤樹が浮上し、白崎は4番手に。しかし、1～2コーナー間ではアウトからアプローチした下野が白崎と交錯しつつもポジションアップに成功、4番手に躍り出る。

これでオープニングラップを終えた段階で、トップ6のオーダーは森山、清水、佐藤樹、下野、白崎、熊谷となったが、

OTGI
RACING TECHNOLOGY

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SELDA
RACING



Report:Final Race Round 2



2 周目の 1 コーナーでインディペンデントクラスの首位争いで接触が発生。さらに同じく 1 コーナーでも接触アクシデントが起こり、ダメージを受けた車両が 1~2 コーナー間のアウト側コース脇にストップしたため、セーフティカーが導入されることとなった。

このセーフティカーは 4 周目に消灯し、レースは 5 周目からリスタートとなったが、ここで森山は 1 コーナーで清水に並びかけられるもなんとか首位をキープ。しかし、この 2 台の背後で 3 番手にいた佐藤樹のイン側に白崎、さらにそのイン側に下野が飛び込み、1 コーナーの APEX 付近では下野が 3 番手に浮上したかにみえたが、直後に下野と白崎が接触してしまい、下野は 1~2 コーナー間でス

ピン。白崎もここで大きく順位を下げてしまう。

このアクシデントにより、3 番手に佐藤樹が返り咲き、4 番手以降には熊谷、小松、村田将輝らが浮上することとなったが、この 3 台の攻防はしばらく続き、6 周目の 1 コーナーでは村田が小松に並びかけようとするも、ここは小松がポジションを守る。

上位 3 台の争いは、1 秒前後のギャップを維持しながら続くも、2 番手清水もトップの森山に仕掛けるまでには詰められず、徐々に膠着した状況に。4 番手の熊谷の背後には小松、村田が続いていたが、村田はシフトにトラブルを抱えてしまい後退を余儀なくされ、代わってスタートで大きく後退も、そこから追いついてきた新原が 10 周目に 6 番手に浮上することに。

ペースに勝る新原は、前を行く熊谷、小松に肉薄すると 12 周目の 1 コーナーでは熊谷、小松と 3 ワイドに。ここでは熊谷が踏ん張るも、100R 出口では新原が熊谷の前に出て 4 番手に。ダンロップコーナーでは再び 3 台が横並びになるが、13 コーナー付近では今度は熊谷、小松が新原の前に。この 3 台は再びホームストレートで 3 ワイドとなるが、13 周目の 1 コーナーでアウトから被せるように新原がついに 4 番手を奪い取る。



OTGI
RACING TEAM

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
BRANDS

SELDA
RACING TEAM



Report:Final Race Round 2



首位攻防では、やや 3 番手佐藤樹はギャップを開けられたが、トップ森山と 2 番手清水の間隔はわずかに縮まり、コンマ 5〜7 秒ほどとなっていたが、終始安定したレース運びを見せた森山がそのまま 14 周を逃げ切って念願のトップチェッカー。右手を突き上げ、自身の初優勝を祝いながらのフィニッシュとなった。

惜しくも森山には届かなかったものの、Drago CORSE の 2 台、清水が 2 位、佐藤樹が 3 位で揃って初表彰台を獲得。以下新原、熊谷、小松が 4〜6 位となった。

インディペンデントクラスでは、仲尾恵史、IKARI がクラスフロントロウに並び、KENTARO、KEN

ALEX、赤松昌一朗、大山正芳が続くスターティンググリッドとなった。

スタート直後から仲尾、IKARI がトップを争う展開となったが、2 周目の 1 コーナーでこの 2 台がまさかの接触。仲尾がスピンを喫し、IKARI がフロントウイングにダメージを負ったが、両者ともに再スタートするも、さらにその直後、1 コーナーで前を行く SAKAI WILLIAM にイン側から並びかけた大山正芳が接触し、SAKAI WILLIAM がスピン。大山はサスペンションにダメージを受けて、1〜2 コーナー間のアウト側コース脇に車両を止めることとなったため、セーフティカーが導入されることとなってしまった。

この段階で、インディペンデントクラスの首位に立ったのは KENTARO。これに赤松、後方から追いついてきた齋藤真紀雄、小谷素弘と続き、スピンから復帰した仲尾は 5 番手、IKARI は 6 番手に。さらに大阪八郎、YUGO、SAKAI WILLIAM が続くオーダーとなった。

リスタートとなった 5 周目以降、トップの KENTARO は安定して周回を重ねていったが、その背後では 2 番手に赤松をかわした齋藤が浮上。徐々に齋藤が KENTARO との間合いを詰めるものの、KENTARO は 0.3 秒差で逃げ切り、嬉しい初優勝。追いつけた齋藤が 2 位に。しかし、ラストラップのダンロップコーナーで 3 番手を争っていた 2 台、赤松と KEN ALEX が接触となり、そのアクシデントの間にポジションを上げた小谷が初となる 3 位表彰台を獲得。4〜6 位には大阪、IKARI、小谷が入った。



OTRGT
RACING TEAM OTRGT

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC

SELDA
RACING TEAM SELDA





Report: Final Race Round 2

第2戦 決勝上位コメント：チャンピオンクラス

■ 決勝1位 森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】

「去年苦しんだ分、今回の初優勝はとても嬉しいです。レース中、シフトアップがキャンセルされるトラブルが何度かあったものの、それ以外はクルマの調子も良く、プラン通りにレースができました。昨日（第1戦決勝）はノーポイントに終わってしまいましたが、今回ワークス勢（TGR-DC RS と HFDP Racing Team）が出なかったことでポイント差を取り返すことができたし、マシンのフィーリング的にもチャンピオンを狙える手ごたえがあります。次の鈴鹿以降も優勝を目指し、しっかりと戦っていきたいです」



■ 決勝2位 清水 啓伸【#34 Drago CORSE MCS4-24】

「初参戦の昨年は1ポイントも獲ることができませんでしたが、チームが変わった今年はシーズン前から結果が出せる体制だと感じていて、開幕戦から優勝を狙っていました。昨日（第1戦決勝）は出遅れてしまったスタートが今日改善できたのは良かったですが、これまで後方争いしかしたことがなく、クルマのペースは良かったものの、その部分の経験不足が優勝に届かなかった原因かなと思います。クルマのペースは一番良かったと思います。ですから初表彰台は嬉しいですが、優勝したかったという気持ちの方が大きいです。次の鈴鹿は優勝できるよう頑張ります」



■ 決勝3位 佐藤 樹【#33 Drago CORSE MCS4-24】

「スタートはうまく決まって順位を上げることができたのですが、クルマのバランスが悪く、その後のペースはまったくなかった。後方とは差が開いていたから良かったものの、接近されていたら守れていたかどうか危なかったですね。でも内容はともかく、開幕大会で表彰台に上がってシーズンの好スタートを切ることができました。まだまだ先は長いですが、もっと上を目指せるよう頑張ります」



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

FFC
RACING

SEIPRO
RACING



Report: Final Race Round 2

第2戦 決勝上位コメント：インディペンデントクラス

■ 決勝 1 位 KENTARO 【#55 Baum Field F4】

「レーシングカーにはじめて乗ってからここまで 2 年半の間、仕事よりも遊びよりもレース活動を優先的にやってきましたので、ここで結果を出すことができ良かったです。今シーズンは成長していることを実感していて、表彰台争いがしたいと思っていました。昨日の初戦はスタートでエンストしてしまい、後方から追い上げたものの表彰台に 1 歩届きませんでした。今日はスタートもうまくいって優勝できたので非常に嬉しいです。コーチやチームに感謝したいと思います。一度だけでなく複数回勝てるよう、これからも頑張ります」



■ 決勝 2 位 齋藤 真紀雄 【#96 CS マーケティング AKILAND】

「今回はマシントラブルで練習走行もあまり走れなかったし、予選でもともにアタックすることができませんでした。その結果、最後尾からのスタートということで、スタートから “ とにかく行くしかない ” と考えて挑み、最後は KENTARO 選手に迫ることができたので良かったかなと思います。アクシデントもあったもののファステストもマークしたし、内容も悪くなかったと思います。ここまでランキング 2 位、3 位ばかりなので、今年こそチャンピオンを獲りたいです」



■ 決勝 3 位 小谷 素弘 【#5 TEAM 5ZIGEN F4】

「初参戦の最初の大会で表彰台というのは、まぐれだとしても嬉しいです。今回の 2 レースはとにかく、接触せずに完走して、レースに慣れることが目標でした。その中で順位がどんどん上がっていったラッキーでした。今後も接触せずにしっかりと完走するレースを毎回やっていって、シーズン終盤に近づいていく中で徐々にトップ争いができるよう練習を重ねていきたいと思います」



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

FFC
RACING

SEIPKA
RACING



Result: Final Race Round 2

発表 09:45

天候: 晴れ

路面: ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Lap	Time	Gap	Best Lap
チャンピオンクラス							
1	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	14	27'17.634		1'45.753
2	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	14	27'18.338	0.704	1'45.439
3	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	14	27'21.005	3.371	1'45.874
4	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	14	27'31.205	13.571	1'45.441
5	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	14	27'33.839	16.205	1'46.580
6	10	小松 響/H.KOMATSU	Rn-sports MCS4	14	27'33.876	16.242	1'46.686
7	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	14	27'36.550	18.916	1'47.047
8	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	14	27'38.101	20.467	1'46.766
9	64	HIROBON	HELM MOTORSPORTS F4	14	27'41.280	23.646	1'47.277
10	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	14	27'43.186	25.552	1'47.249
11	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	14	27'49.854	32.220	1'46.356
			-----以上完走-----				
	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	11	22'51.945	3Laps	1'46.781
	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	5	11'59.779	9Laps	1'47.070
インディペンデントクラス							
21	55	KENTARO	Baum Field F4	14	27'44.784		1'46.943
22	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	14	27'45.153	0.369	1'46.909
23	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	14	28'00.856	16.072	1'48.500
24	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	14	28'05.238	20.454	1'48.681
25	98	IKARI	Bionic Jack Racing	14	28'06.857	22.073	1'49.240
26	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	14	28'12.489	27.705	1'47.855
27	9	KEN ALEX	BUZZ RACING	14	28'14.274	29.490	1'47.638
28	23	YUGO	S2R Racing	14	28'57.581	1'12.797	1'52.508
29	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	13	28'15.603	1Lap	1'49.242
30	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	13	28'18.577	1Lap	1'48.089
			-----以上完走-----				
	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワ通商AKILAND	1	2'29.415	13Laps	-

チャンピオンクラス 参加台数: 22台 / 出走台数: 13台 / 完走台数: 11台

インディペンデントクラス 参加台数: 15台 / 出走台数: 11台 / 完走台数: 10台



チャンピオンクラス ベストラップ: 34 清水 啓伸/H.SHIMIZU 1'45.439 (11/ 14) 155.794 km/h

インディペンデントクラス ベストラップ: 96 荒川 麟/R.ARAKAWA 1'46.909 (12/ 14) 153.652 km/h



SC導入時刻 08:07(1Lap)~08:13(4Laps)



*1 CarNo.9は、シリーズ規則第5条1.1(衝突をおこしたものの)違反により、競技結果に対し5秒加算のペナルティを課す。



*2 CarNo.23は、H項違反(黄旗1本区間でのオーバーラン)により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。

Toray Carbon Magic



*3 CarNo.71は、シリーズ規則第15条1.1(衝突をおこしたものの)違反により、競技結果に対し30秒加算のペナルティを課す。





Result: Point Standings-1

■チャンピオンクラス ランキング

Rank	Car No.	Driver	Rd.1 5/3	Rd.2 5/4	Rd.3 6/3	Rd.4 6/4	Rd.5 8/5	Rd.6 8/6	Rd.7 8/26	Rd.8 8/27	Rd.9 9/16	Rd.10 9/17	Rd.11 10/14	Rd.12 10/15	Rd.13 11/4	Rd.14 11/5	Total
			FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	12	18													30
2	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	0	25													25
3	35	佐野 雄城/Y.SANO	25	DNS													25
4	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	18	DNS													18
5	51	洞地 遼大/R.HORACHI	15	DNS													15
6	33	佐藤 樹/I.SATO	DNF	15													15
7	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	DNF	12													12
8	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	1	10													11
9	10	小松 響/H.KOMATSU	DNF	10													10
10	36	卜部 和久/K.URABE	10	DNS													10
11	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	4	6													10
12	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	8	DNF													8
13	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	6	DNS													6
14	77	松田 大輝/D.MATSUDA	2	4													6
15	64	HIROBON	DNF	2													2
16	90	Lin Chenghua/C.Lin	DNF	1													1

■インディペンデントクラス ランキング

Rank	Car No.	Driver	Rd.1 5/3	Rd.2 5/4	Rd.3 6/3	Rd.4 6/4	Rd.5 8/5	Rd.6 8/6	Rd.7 8/26	Rd.8 8/27	Rd.9 9/16	Rd.10 9/17	Rd.11 10/14	Rd.12 10/15	Rd.13 11/4	Rd.14 11/5	Total
			FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	55	KENTARO	12	25													37
2	30	DRAGON	25	DNS													25
3	98	IKARI	15	10													25
4	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	6	18													24
5	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	18	1													19
6	5	小谷 素弘/M.KOTANI	4	15													19
7	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	8	8													16
8	86	大阪 八郎/H.OSAKA	1	12													13
9	71	大山 正秀/M.OYAMA	10	DNF													10
10	9	KEN ALEX	2	6													8
11	23	YUGO	0	4													4
12	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	DNF	2													2



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the FutureFERODO
RACINGPETRONAS
SyntiumFFC
RACINGSEIPRA
RACING



Result: Point Standings-2

■チーム ランキング（チャンピオンクラス）※各チーム最上位車のみ計上

Rank	Team	Rd.1 5/3	Rd.2 5/4	Rd.3 6/1	Rd.4 6/2	Rd.5 8/3	Rd.6 8/4	Rd.7 8/26	Rd.8 8/27	Rd.9 9/21	Rd.10 9/22	Rd.11 10/19	Rd.12 10/20	Rd.13 11/2	Rd.14 11/3	Total
		FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	Drago CORSE	12	18													30
2	HELM MOTORSPORTS	0	25													25
3	TGR-DC Racing School	25	0													25
4	HFDP WITH B-Max Racing Team	18	0													18
5	HYDRANGEA Kageyama Racing	0	12													12
6	OTG MOTOR SPORTS	1	10													11
7	FALCON MOTORSPORT	4	6													10
8	Rn-sports	0	8													8
9	Bionic Jack Racing	8	0													8
10	スキルスピード	2	4													6
11	AKILAND RACING	0	1													1

■チーム ランキング（インディペンデントクラス）※各チーム最上位車のみ計上

Rank	Team	Rd.1 5/3	Rd.2 5/4	Rd.3 6/1	Rd.4 6/2	Rd.5 8/3	Rd.6 8/4	Rd.7 8/26	Rd.8 8/27	Rd.9 9/21	Rd.10 9/22	Rd.11 10/19	Rd.12 10/20	Rd.13 11/2	Rd.14 11/3	Total
		FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	FIELD MOTORSPORT	12	25													37
2	AKILAND RACING	18	18													36
3	B-MAX RACING TEAM	25	0													25
4	Bionic Jack Racing	15	10													25
5	Team5ZIGEN	4	15													19
6	イーグルスポーツ	8	8													16
7	Dr.Dry	1	12													13
8	Buzz Racing	2	6													8
9	N-SPEED	0	4													4
10	HELM MOTORSPORTS	0	2													2

